

### 3 新品種「ナカテユタカ」

(農試畑作科)

新品種「ナカテユタカ」は病害(灰色カビ病, 汚斑病等)に強く, 病害多発年ではタチマサリに比較して収量品質が優る。とくに, 莢色が白いことから「いり莢」に好適し, 品質ではタチマサリに比べ上位にランクされる。

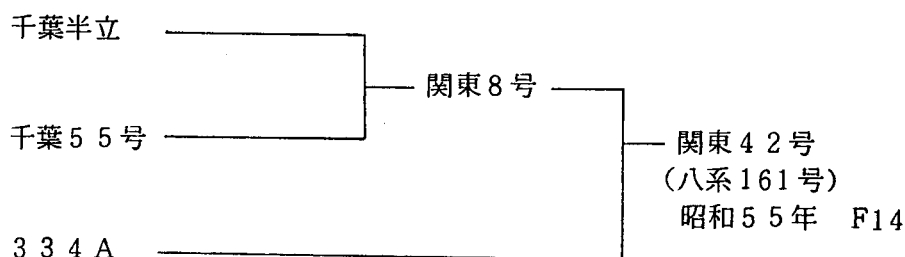
#### (1) 来歴

千葉県農業試験場(農水省育種指定試験地)において, 多収, 良質品種の育成を目標として昭和41年「関東8号」を母に「334A」を父に人工交配され, 初期世代は集団育成を昭和46年(F5)で個体選抜が行なわれ, 以後系統育成を続けるとともに生産力が検定された。昭和51年に「関東42号」の地方番号が付され, 関係各県に配布され, 地方適否が検討されてきた。

千葉, 茨城, 神奈川, 各県で奨励品種に採用され, 昭和54年6月, 「らっかせい農林8号」として登録され, 「ナカテユタカ」と命名された。

本県においては昭和48年より2年間農試本場にて「八系161号(R1621)」として系統適応性検定試験に供試された。昭和51年からは優良品種選抜試験に取り入れ, 昭和52年からは二戸市米沢, さらに昭和54年からは県北, 県南両分場を加え検討した結果成績良好と認められた。

ナカテユタカの系譜



#### (2) 特性の概要

##### 1) 形態的特性

タチマサリを対象に主要形質を比較すると, タチマサリ同様立性であるが, タチマサリよりも分枝が閉じ, 主茎長はやや短く, 最長分枝長は同等である。分枝数はかなり多いが, 倒伏はタチマサリ並かやや強い。葉色はやや濃く小葉は長く, 鋭角的な展開をし, 受光姿勢は良好である。茎はやや細い。莢はタチマサリ並に大きく, 上莢数は少ないが多粒莢歩合が高い。莢色は極めて白く見ばえが良く特に「いり莢」に好適する。剥実歩合, 上実歩合はタチマサリ並であるが, 百粒重はやや重い。育成地では粒色はタチマサリ同様淡橙褐

に分類されるが、本場産ではタチマサリに比較すると赤色がやや濃く、粒揃いも良く剥実粒の品質は極めて良好である。

## 2) 生態的特性

開花期はタチマサリより10日遅く中生種に属するが、早生種に近い熟性を示す。タチマサリに比べ汚斑病、灰色カビ病に強く、成熟後期の落葉は少ない。収量性はタチマサリに比べ低く、特に密植条件では低下する。低温、多湿時（昭和51, 55）には病害による落葉が少ないことから粒の充実が良く、上実歩合が低下しない。さらに莢色が白く、特にいり莢の品質は良好である。剥実加工の場合も粒の品質は良く主流品種の千葉半立に近い特性を持ち合わせている。

「子実成分は千葉半立より脂肪、灰分はやや多く蛋白質、還元糖、非還元糖はやや少ない。食味は良好で千葉粒に比べ甘みはやや少ないが、硬さや、うまさには差がない。（育成地）」

マルチ栽培では植穴に莢が集中し、フィルム面から侵入する莢がほとんどなく、掘り取りが容易で収穫物への付着が少ない。タチマサリより分枝が閉じているため掘り取り後の結束が容易である。

## (3) 成績の概要

### 1) 本場における成績

#### (ア) 特性表

項目 品種	草型	小葉			落葉の 早 晩	粒 莢					
		形状	大小	色		大小	形	色	大小	色	網目の 深 浅
ナカテユタカ	F <sub>2</sub> (立)	長	中	暗 緑	やや晩 ~晩	大の中	長	淡橙褐	大の中	白	やや浅
タチマサリ	E <sub>3</sub> (立)	中	やや大	暗黄緑	早	大の中	やや長	淡橙黄	大の中	褐	やや深

#### (イ) 試験方法（本場）

年次	播種期 (月日)	収穫期 (月日)	栽植密度	施肥量 (kg/a)				薬 剂 散 布
				N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	石灰	
51	5. 13	9. 30	$\frac{110}{2} \times 15 \text{ cm}$	0.3	1.3	1.2	8	ダコニール+トップM 5回
52	5. 13	10. 3	1,212本/a	0.4	1.4	1.4	—	” ” 2回
53	5. 11	9. 26	9,215 マルチ	”	1.6	1.4	8	無散布
54	5. 10	10. 8		”	1.4	1.0	—	ダコニール+トップM 1回
55	5. 10	9. 30	1 株 1 本立	”	1.5	1.0	—	ダコニール, トップM, スミチオン5回

## (ウ) 生育収量調査

品種名	年次	開花期 (月日)	主茎長 (cm)	最長分 枝長 (cm)	総分枝 数 (本)	株当り 上莖数 (莖)	収 量				剥実 歩合 (%)	上実 歩合 (%)	上 実 百粒重 (g)	
							莖実重 (kg/a)	子実重 (kg/a)						同左比 (%)
								上 実	下 実	計				
ナカテ ユタカ	51	7. 9	—	40	25.8	18.8	32.6	15.0	5.5	20.5	99	63	73	80.1
	52	7. 2	45	46	21.7	18.3	44.7	29.6	2.7	32.3	91	72	92	85.0
	53	7. 2	41	46	19.7	21.2	57.6	30.7	6.5	37.2	88	65	83	94.2
	54	—	40	44	18.6	17.4	47.1	29.9	2.9	32.8	83	70	91	94.4
	55	6. 27	30	33	20.3	15.2	37.9	23.3	2.7	26.0	93	69	90	84.0
	平均	7. 3	39	42	21.2	18.2	44.0	25.7	4.1	29.8	90	68	86	87.5
タチマ サリ	51	6. 26	—	43	9.9	19.0	32.4	14.3	6.4	20.7	100	64	69	71.7
	52	6. 22	48	48	11.1	21.1	49.6	33.1	2.3	35.4	100	71	94	87.1
	53	6. 24	29	38	9.1	22.6	62.6	37.8	4.3	42.1	100	67	90	100.9
	54	6. 22	40	45	8.7	22.3	56.0	38.1	1.5	39.6	100	71	96	89.2
	55	6. 18	26	35	11.4	21.1	42.2	21.6	6.4	28.0	100	66	77	69.7
	平均	6. 23	36	42	10.0	21.2	48.6	29.0	4.2	33.2	100	68	87	83.7

## (エ) 特性調査

品 種 名	年次	倒 伏	病 害			品 質			
			褐斑病	汚斑病	灰色 かび病	粒の整否	充 実	色 沢	品 質
ナカテユタカ	51	無	微	中	少~中	—	—	—	中上
	52	無	微~少	微~少	少	やや整	やや良	やや良	中中
	53	無	微	微~少	少	やや整	良	やや良	中中
	54	無	少~中	少	微~少	中	中	やや良	上下
	55	無	微	微	少	やや整	やや良	やや良	上下
	平均	無	微~少	微~少	少	やや整	やや良	やや良	中上
タチマサリ	51	無	微	多	多	—	—	—	中中
	52	微	微	中	中	やや否	やや良	やや良	中中
	53	無	微~少	少~中	少~中	中	良	やや良	中上
	54	無	微	中	少~中	中	中	中	中中
	55	微~少	微	中	中~多	やや否	不良	不良	下上
	平均	微	微	中	中	中~やや良	中~やや良	中	中中

(オ) 栽植密度試験

年次	品 種 名	密 度 (本/a)	栽 植 様 式	一 株 本数	開花期 (月日)	主 茎 長 (cm)	最長 分枝 長(cm)	総分枝 数 (本/株)	上 莢 数		収 量		同左 比 (%)	剥実 歩合 (%)	上実 歩合 (%)	上実 百粒 重(g)
									株当り (莢)	m <sup>2</sup> 当り (莢)	莢実 重(kg <sub>a</sub> )	子実 重(kg <sub>a</sub> )				
53	ナカテユタカ	1,212	9,215 フィルム	1	7. 2	41	46	19.7	21.2	257	57.6	37.2	100	65	83	94.2
		1,818	"	1.5	7. 2	43	46	24.3	20.6	250	56.9	35.6	96	63	82	92.1
		2,424	"	2	7. 3	43	50	27.0	17.4	211	53.9	32.2	87	60	78	90.7
	タチマサリ	1,212	"	1	6. 24	29	38	9.1	22.6	274	62.6	42.1	100	67	90	100.9
		1,818	"	1.5	6. 24	30	40	13.3	21.1	256	67.7	44.6	106	66	91	94.9
		2,424	"	2	6. 25	36	41	16.3	22.6	274	66.7	42.3	100	63	94	98.7
55	ナカテユタカ	1,212	9,215 フィルム	1	6. 27	30	33	20.3	15.2	184	37.9	26.0	100	69	90	84.0
		1,818	"	1.5	6. 27	36	38	20.1	17.6	213	37.6	25.6	98	68	86	84.3
		2,424	"	2	6. 27	37	41	22.5	15.6	189	33.4	22.9	88	69	89	78.5
	タチマサリ	1,333	8,215 フィルム	1	6. 27	32	38	18.2	15.0	200	35.9	25.3	97	70	75	74.1
		1,666	8,212 "	1	6. 27	38	42	18.9	10.6	177	35.4	24.0	92	68	85	79.7
		1,212	9,215 フィルム	1	6. 28	26	35	10.0	21.2	257	42.2	28.0	-	66	77	69.7

年次	品 種 名	密 度	倒伏	病 害			品 質			
				褐斑病	汚斑病	灰色かび病	粒の整否	粒の色沢	粒の充実	品 質
53	ナカテユタカ	1,212	無	微	微~少	少	やや整	やや良	良	中中
		1,818	無	微	少	少~中	中	中	やや良	中中
		2,424	無	微	微	少~中	中	中	やや良	中中
	タチマサリ	1,212	無	微~少	少~中	少~中	中	やや良	良	中上
		1,818	無	微~少	中	中	中	やや良	良	中下
		2,424	無	微	中	中	中	やや良	良	中中

(カ) 多粒莢歩合

年次	品 種 名	密度(本/a)	多粒莢歩合(%)
53	ナカテユタカ	1,212	89.1
		1,818	85.6
		2,424	88.0
	タチマサリ	1,212	87.5
		1,818	85.4
		2,424	87.9
55	ナカテユタカ	1,212	75.3
	タチマサリ	1,212	73.9

2) 分場における成績

(ア) 県南分場 (昭55)

試験方法

播種期 5月8日 収穫期 10月2日

栽植密度  $\frac{110}{2} \text{ cm} \times 15 \text{ cm}$  9,215・P8マルチ使用

施肥量 (kg/a) N. 0.2, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 1.0, K<sub>2</sub>O 1.0, 炭カル9

品 種 名	開花期 (月日)	主茎長 (cm)	最長分 枝長 (cm)	1次分 枝数 (本)	株当り莢数		収 量			剥実 歩合 (%)	上実 歩合 (%)	上実 百粒重 (g)
					上 莢 (莢)	下 莢 (莢)	莢実重 (kg/a)	子実重 (kg/a)	同左比 (%)			
ナカテユタカ	6.19	41	43	6.8	23.9	2.3	54.0	39.1	103	72	97	86.0
タチマサリ	6.15	42	51	4.7	24.2	2.1	55.0	38.0	100	69	95	79.5

品 種 名	病 害		粒 色	粒 の 充 実	品 質
	汚斑病	灰 色 かび病			
ナカテユタカ	少	少	淡橙褐	良	中上
タチマサリ	中	中~多	淡橙黄	やや良	中中

(イ) 県北分場 (昭, 55)

播種期 5月12日, 9,215. P8マルチ使用, 栽培密度  $\frac{110}{2} \text{ cm} \times 15 \text{ cm}$

施肥量 (kg/a) N-0.3, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-1.5, K<sub>2</sub>O-1.5

品 種 名	開花期 (月日)	主茎長 (cm)	最長 分枝長 (cm)	1次 分枝数 (本)	株当り 莢数	莢実重 (kg/a)	子実重 (kg/a)	同左比 (%)	剥 実 歩 合 (%)	上 実 歩 合 (%)	上実 百粒重 (g)	汚 斑 病	灰色 かび病	虫 害
ナカテユタカ	6.23	29	35	8.5	12.5	19.9	14.1	133	71	95	74.9	中	多	中
タチマサリ	6.21	31	39	5.5	15.0	16.1	10.6	100	66	91	56.5	中~多	多~甚	少

(4) 栽培上の留意点

1. マルチ栽培を行なう。草型が従来の「タチマサリ」より立性であるため密植されがちであるが、標準密度9215フィルムで栽培する。
2. 落葉が遅く、収穫期が判定しにくいので掘り取りは県中部9月20日~10月10日、県南部10月10日までとし、いずれの場合も降霜前に掘り取る。
3. 良質な莢実を生産するために、乾燥には十分注意し、長時間降雨にあてないようにする。莢の表面がカビ等により変色する前にハウス等で仕上げ乾燥を十分行なう。
4. 病害には強いが、発生したら早目に防除を行なう。
5. 中生種であるため播種適期が狭く、晩播は行なわない。  
播種適期は県中部10~15日、県南部は5月5日~15日とする。
6. 土壌条件、転換畑では特に湿害に弱いいため排水対策を十分行なう。

(5) 適応見込み地帯

特性を生かした良質の白莢を生産するには初霜の遅い県中部以南に適する。

・普及見込み面積

80~250 ha

・種子量

40 kg (剥実)